

発熱外来を拡充しました

当院では、患者さまに安心して受診いただくため、令和2年10月19日より当面の間、発熱外来を拡充いたしました。発熱・咳・倦怠感などの症状がある場合は、感染予防対策のため一般外来と分けて、別の場所で診療をいたします。新型コロナウイルス感染症対策のために、ご理解、ご協力の程よろしく申し上げます。

院内感染防止対策委員長 水上

《発熱外来棟には診察室、処置室、ガウン・マスク着脱室、検査室、トイレが完備されています》



外観



診察室内



検査室



トイレ



ガウン・マスク着脱室

【対象の患者さまは】

16歳以上の方で、一週間以内に37.5度以上の発熱、咳・痰など上気道症状、強い倦怠感などがある方は発熱外来で診察をいたします。

【ご注意】

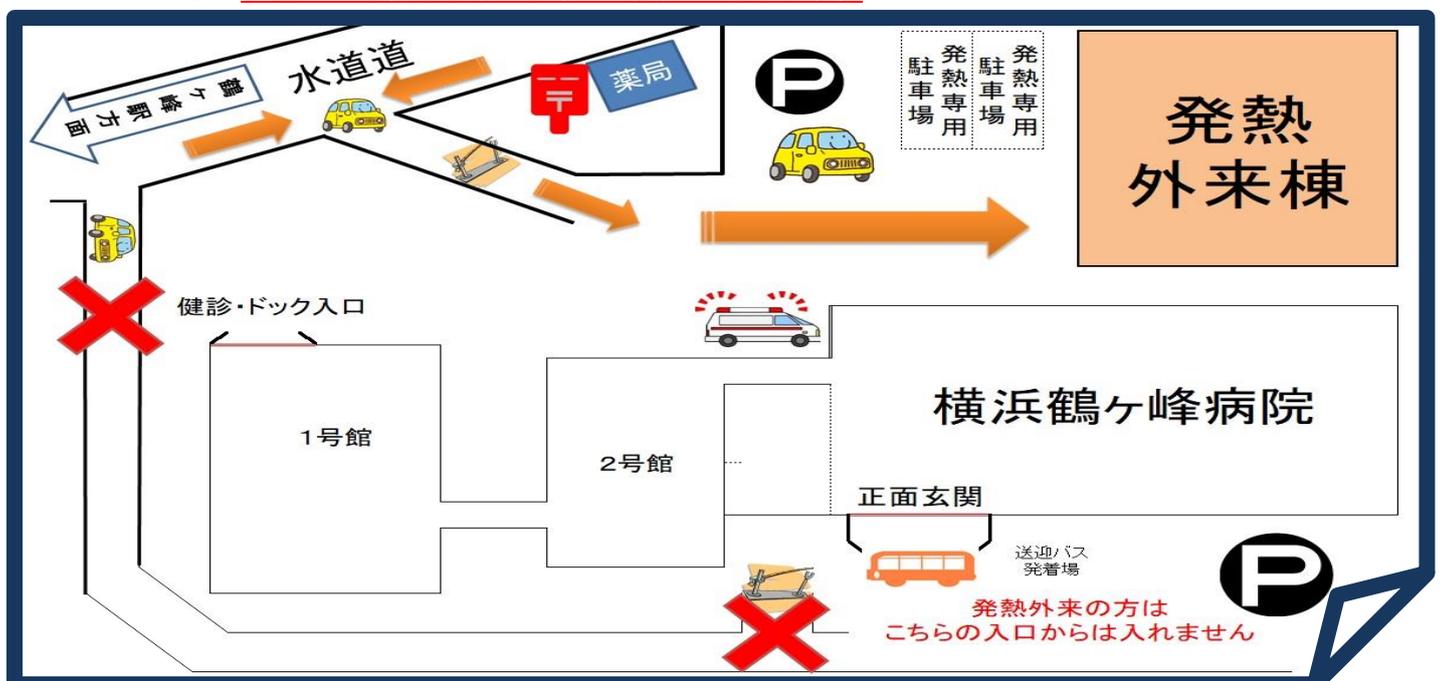
発熱外来を受診された方で新型コロナウイルス感染が疑われる場合は、帰国者・接触者相談センターと協議の上、帰国者・接触者外来を受診いただくこととなります。なお、PCR検査については、医師判断にて対応しています。

【受診方法は】

- 電話 045-371-2511 メディカルコールセンターへご連絡ください
- 受付時間 9時から
- 診療時間 平日 15時から開始

【入口は】

- 病院の正面入口から入らないようお願いいたします。
- 駐車場は下図指定駐車場に止め車内で待機をお願いいたします。
- 送迎バスは利用しないようお願いいたします。

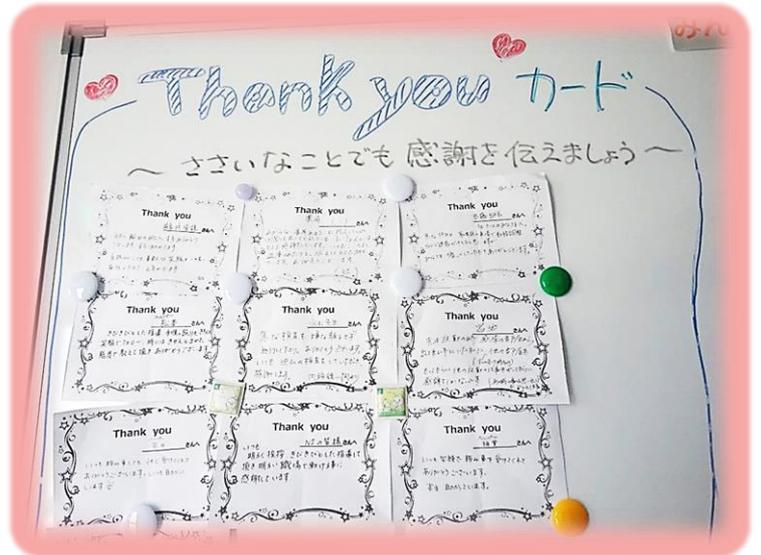


看護部の取り組み

コロナ禍の中、職員は日々感染対策をとり業務に従事し「地域に愛される病院づくり」を目指しています。当院の看護師が行った「働きやすさ」の研究結果で看護師間の協同関係がとれている職場環境であるという大変嬉しい結果ができました。

さらに「もっとワクワク楽しい職場づくり」を目指し、職員間で「サンキューカード」の導入を行っています。

一緒に働く仲間たちに、日頃の感謝を伝え合い、全ての職員同士が認め合い、思いやり、温かい、優しい気持ちを持つことは感謝や笑顔につながり、愛される職場、病院づくりに繋げていけるのではないかと考えています。病院に来て下さる患者さま、ご家族さまに愛される病院を目指し、たくさん笑顔届けたいと思います。



業務改善委員長 齋藤智子

【地域医療連携室より】

開業医の先生方や施設さまで以下のようなことでお困りではないでしょうか？ 地域医療連携室では、地域の総合相談室としてのお手伝いもしておりますので、どのような事でもお気軽にご相談ください。

- ・ 自宅で介護している家族が疲れているので一定期間患者を入院させたい
- ・ 学会等に出席の為、その期間だけ入院をお願いしたい
- ・ いろいろな検査してほしいが、なかなか病院の受入が厳しい
- ・ 自宅の介護が厳しく施設を考えているがどこに相談したらいいかわからない
- ・ 認知症の診断をしてほしいが、精神科には行きたくないと言われ困っている
一般病院で認知症の検査入院ができないか
- ・ ショートステイを利用したいが、処置、病気を理由に見つからない
- ・ 病院から退院と言われているが、施設では受入困難と言われ困っている。次の行き先が見つからない
- ・ 連休に入るので、その間だけの入院をお願いしたい

お知らせ

マロニエ食堂のご利用について

当院では、これまでの市内における新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、施設内の混雑を可能な限り制限することで、濃厚接触リスクを低減させる感染対策の一環として、10月19日（月）から3月31日（水）の間、利用対象者を職員のみとさせていただきます。ご利用の皆さまにはご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

期 間 2020年10月19日（月）～2021年3月31日（水）まで

編集後記／池住

インフルエンザの時期到来ですが、インフルエンザの感染者が少ないようで安心している今年でもいつもと違う対策が求められるため、それぞれご苦労されている事かと思えます。

そのせいで、インフルエンザや新型コロナウイルスが気になり過ぎて自宅に引きこもりがちになってはいませんか？引きこもりの生活は体にとっても良くないので、天気の良い日は外に出て散歩などして気分転換することも大切！と思っていますが……。知らず知らず引きこもりに慣れてしまっている私があります。たいへん！たいへん！